

かほ クイズ

国内で承認されたアフリカ豚熱のワクチンはあるでしょうか？

- ①ある
- ②ない

家保通信

Vol. 39 No. 9 12月号

東京都家畜保健衛生所



令和7年11月27日



動物感謝デーに参加しました

11月15日に上野恩賜公園で行われた動物感謝デーに参加しました。ステージイベントでは、クイズ形式で家畜保健衛生所の業務を紹介しました。展示ブースではピペット操作や顕微鏡観察の体験コーナーと、細菌培養培地や寄生虫標本の展示を行いました。子供や外国人、獣医学学生など多くの方に家畜保健衛生所の役割や家畜の伝染病について知ることができました。今後も家畜伝染病発生防止のため、広報を続けてまいります。



↑ステージの様子



↑ブースの様子



牛サルモネラ症について

牛サルモネラ症は、細菌による感染症で、発生すると経済的損失の大きい疾病です。子牛から成牛まで感染し、若齢の牛ほど重篤化しやすい傾向にあります。

症状

元気消失、食欲不振、発熱、黄白色水溶性の悪臭の強い下痢、粘血便等が起こり、重症化すると**死亡**します。搾乳牛では脱水による乳量の減少、妊娠牛では早産・流死産が起こることもあります。

感染経路

ネズミや野鳥などの野生動物、人や車両、保菌牛の導入などにより農場に持ち込まれ、環境が汚染されます。環境から感染した牛から**同居牛間の経口感染、母牛の胎盤や血液を介して子牛に感染する垂直感染**によって広がります。発症牛は下痢が治まても糞便中に排菌し続け、**菌は環境中に約6ヶ月も生存して感染源**となります。

予防

導入牛の隔離によって、他の牛への感染を防ぎましょう。**飼槽や給水器の残さは感染源**となります。定期的な清掃・消毒を実施しましょう。



治療

獣医師の判断により、抗生物質の投与を行います。

↑牛サルモネラ症を発症した牛

クイズの答え：②

国内で承認されたアフリカ豚熱のワクチンはありませんが、特定の遺伝子を欠損させて病原性を低くした“遺伝子欠損型弱毒生ワクチン”の開発が進められています。

発行日 令和7年11月27日

〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町
大字平井2759

編集発行 東京都家畜保健衛生所

TEL : 042-588-7171

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/animal/kaho/>

携帯:090-6941-4315(緊急用)

